

# PRESS RELEASE

報道関係者各位

2024年9月19日  
野村不動産株式会社

リリースカテゴリ

住まい

サステナビリティ

衣食住のうち「住まい」を手掛ける企業として、業界を越えたサステナビリティをテーマとしたイベントを実施  
『SUSTAINABLE FUTURE FES 2024 in Ikebukuro』を主催  
18社の企業にご出展いただき、体験型のワークショップやセミナーが実現

## 本プレスリリースのポイント

1. 住まいを手掛ける企業として、人々にとって身近な側面からサステナビリティ活動拡大にアプローチすべく、業界の枠を超えたイベントを主催
2. 8月31日・9月1日に18社の協賛企業が出展するサステナビリティ体験型イベントが実現
3. 「衣・食・住・遊・学」のテーマに基づくワークショップ・セミナー・展示を実施し、2日間で合計来場者数約450名

野村不動産株式会社（本社：東京都新宿区／代表取締役社長：松尾大作、以下 当社）は、「衣・食・住・遊・学」の5つのテーマにまつわる各企業が集まり、それらのサステナビリティについての展示・ワークショップ・セミナーを楽しみながら体験できる体験型イベント「SUSTAINABLE FUTURE FES 2024 in Ikebukuro（以下 本イベント）」を主催し、8月31日と9月1日の2日間に渡って実施しましたのでお知らせいたします。

当社は「住まい」という人々のライフスタイルにとって身近な要素を手掛けており、こういった多種多様な組織・人々がともに手を取り合い、業界の枠を超えてサステナビリティの取組み拡大へアプローチすることが、人々への行動変容を促す非常に有効な打ち手であると考えました。この考えに対し、18社の企業にご共感・ご協賛をいただき、5つのテーマにまつわる各セミナーや展示、ワークショップをご用意いただき、本イベントを開催しました。

今後も当社は野村不動産グループが掲げるサステナビリティポリシー「Earth Pride -地球をつなぐ-」のもと、サステナビリティの取組み拡大に寄与して参ります。



【本イベント当日の様子】

あしたを、つなぐ

 野村不動産グループ

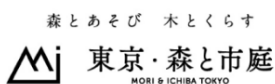
# PRESS RELEASE

## 1. 本イベントの開催背景

当社は企業として、2050年のカーボンニュートラル実現へ貢献することを目標としています。住まいは「衣食住」という言葉に代表されるようにライフスタイルにおいて大きなウェイトを占めるものの、あくまでも一部分であり、当社だけでできることには限界がありました。そのため当社の場合は「住まい」を切り口にして、業界の輪を越えてサステナビリティ活動をお客様へ感じてもらえるよう働きかけを行うことが、非常に有効な打ち手だと考えました。こういったビジョンを衣・食・住だけでなく、遊・学の5つのテーマに基づく企業様へ説明を行ったところ、18社のご共感・ご協賛をいただき、本イベントを開催する運びとなりました。本イベントを通じて、ご来場者様<sup>※1</sup>が日々のサステナビリティ活動へ一歩踏み出すことへ貢献できればと考えております。

※1: 本イベントは野村不動産グループカスタマークラブの会員様を対象に告知・ご案内を行っております。

### 【協賛企業】



あしたを、つなぐ

# PRESS RELEASE

【参考：野村不動産グループがサステナビリティポリシーにおいて大切にしている 3 つのテーマについて】

当社は、野村不動産グループが掲げるサステナビリティポリシー「Earth Pride -地球をつなぐ-」において大切にしている 3 つのテーマのうちの一つ「共に創る未来」にもあるように、多種多様な組織や人間が共に手を取り合い、それぞれの枠を超えてサステナビリティの取組み拡大に寄与していくことを目指しております。

野村不動産ホールディングス公式 HP：<https://www.nomura-re-hd.co.jp/sustainability/>

野村不動産グループサステナビリティプロジェクトサイト：<https://www.minnade-tsunagu.com/>

| 人間らしさ  | 自然との共生  | 共に創る未来  |
|--|---|---|
| テクノロジーがますます発展し、人々の暮らしと融合する世の中において、人間の存在意義や人の幸せとは何かを問い続ける。人と人がお互いを支えつながり合う、人間らしい暮らしを提供し、誰ひとり取り残さない社会の実現に貢献する。 | 未来を生きる子どもたちと自然豊かな地球のために、人間の経済活動をもう一度見つめ直し、本来あるべき美しい環境との共生を実現する。地球の限りある資源を大切にしながら、自然と人間との関係をより良いものへと変えていく。 | 多種多様な組織・人が共に手を取りあい、それぞれの枠を超えて今までにない価値を生み出す。そして、背景や価値観の異なる人々が個性を活かし合う創造的な社会をめざし、暮らし・ビジネス・働き方において、常識にとらわれず挑戦し続ける。 |

## 2. 本イベントの概要

本イベントは衣・食・住・遊・学の 5 つのテーマにエリアが分かれており、各企業がテーマにまつわる体験型ワークショップや展示、セミナーを実施しました。2 日間に渡る開催で、合計で約 450 名の方々にご来場をいただきました。

### 【本イベントの開催概要とご来場者の感想】

|         |  |
|---------|--|
| 日 時     | 2024 年 8 月 31 日(土)、9 月 1 日(日)  |
| 場 所     | 東京都豊島区東池袋 3 丁目 1-4 サンシャインシティ文化会館ビル 2F 展示ホール D  |
| 主 催     | 野村不動産株式会社 住宅事業本部   |
| 来 場 者 数 | 2 日間で合計約 450 名   |
| ご来場者の感想 | <ul style="list-style-type: none"><li>・環境のためや持続可能のための活動というと、何かをガマンしたり、不便になったりするイメージがありますが、今回のイベントのように、楽しみながらできることがたくさんあるということを体験できて良かったです。より広めたいと思いました。(40 代)</li><li>・様々な企業の方とおしゃべりしながら体験することができ、とても有意義でした。すべてが体験型で、子どもも飽きずに過ごすことができました。この度も貴重な体験をありがとうございます。(30 代)</li></ul> |

当社のブースでは、脱炭素の取組みに関する展示や生物多様性の体験型のワークショップ、防災の日になみ、日本子育て支援大賞を受賞した「しまう防災<sup>※2</sup>」の取組み、防災グッズクイズ・携帯トイレ組み立て体験ができるエリアを設けました。

※2：[「見せる防災・しまう防災」をプラウドの原則全物件に導入](#)

あしたを、つなぐ











# PRESS RELEASE



【当社ブースの様子】 左：取組み紹介パネルと生物多様性体現型ワークショップ 右：「しまう防災」のソファを使用した防災グッズクイズ

## ご参考：野村不動産グループのマテリアリティと SDGs について

| 本リリースの取組が該当するマテリアリティ  | 野村不動産グループの取組特色   | 本リリースの取組が特に貢献するSDGs(持続可能な開発目標)  |
|---|--|---|
|  <p>DECARBONIZATION<br/>脱炭素</p>          | <p>不動産デベロッパーとして、まずは「省エネ」「低炭素化」の建物開発に取り組みながら、「再エネ」の導入も推進。サプライチェーン全体でCO2総排出量の削減を実現していきます。</p>                      |       |
|  <p>BIODIVERSITY<br/>生物多様性</p>         | <p>東京・奥多摩町で保有する「つなぐ森」による「循環する森づくり」を通じ、豊かな自然環境を保全するとともに私たちが開発する建物に、そこで収穫・製材した国産木材を活用するなど、CO2吸収や森林機能の向上に貢献します。</p> |   |
|  <p>CIRCULAR DESIGN<br/>サーキュラーデザイン</p> | <p>私たちの事業の中で推進している、建物の長寿命化、シェアリングを取り入れた街づくりやサービス、廃棄物排出量の削減、再資源化への取り組みなどを通じ、脱炭素社会、循環型経済に貢献していきます。</p>             |    |

野村不動産グループの重点目標(マテリアリティ)を国連のSDGs(持続可能な開発目標)に当てはめて整理しております。

サステナビリティの取組み詳細は以下をご確認ください。

URL : <https://www.nomura-re-hd.co.jp/sustainability/>

あしたを、つなぐ